

志布志港の取組～Effort～

国際バルク戦略港湾

「和牛日本一」に輝いた鹿児島黒牛などを生産する国内有数の畜産地帯を背後に有する志布志港では、世界各国から飼料原料が輸入され、周辺の立地企業から九州各地に配合飼料等が搬出されています。

九州で唯一、国際バルク戦略港湾(穀物)に選定されており、穀物バルク船の大型化に対応した施設整備を行うことで、効率的な輸入機能強化が図られ、南九州地域の畜産業の競争力強化に繋がることが期待されています。

また、施設整備にあたっては、大規模災害時におけるサプライチェーン確保、物流機能強化を図るため、耐震対策も進めています。

International bulk strategic port of Shibushi is located in Kagoshima, the leading livestock area awarded as #1

Wagyu-Beef of Japan, is actively importing feed materials around the world, and distributing the imported materials to the local businesses in Kyushu-area for the compound feed materials.

Being the sole international bulk strategic port in Kyushu, designated and specialized for the bulk grain ship accommodation, Shibushi Port is established to support the livestock industry in the southern Kyushu area.

産直港湾

志布志港では、背後地域が農林水産物の一大生産地となっているボテンシャルを活かし、新若浜地区国際コンテナターミナルを活用した農林水産物・食品の輸出促進に取り組んでいます。

ターミナル内の公共上屋に温度・衛生管理が可能な荷捌き施設(冷凍・冷蔵倉庫/ドックシェルター等)を新たに整備し、全国で3港目の産直港湾として、大ロット輸出産地の形成に向けた輸出環境の強化を図ります。

By the installation of the temperature and the sanitation control in the cargo handling facility(freezer, refrigerator, dock shelter, etc), Shibushi Port has become the third port in Japan which is directly connected to the large-scale product production region.

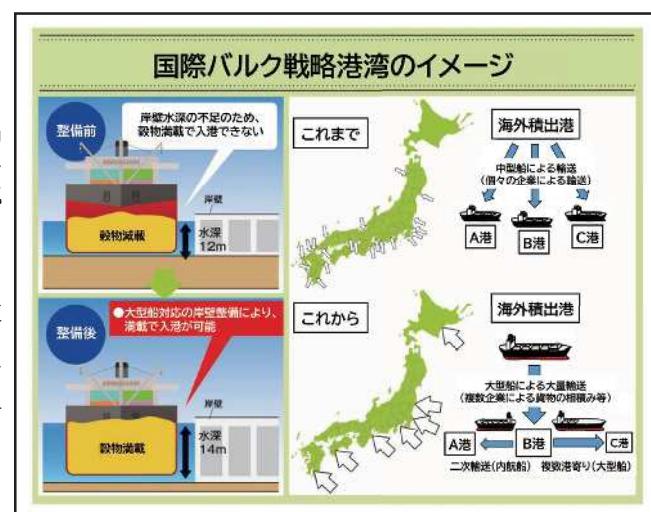


交通ネットワーク

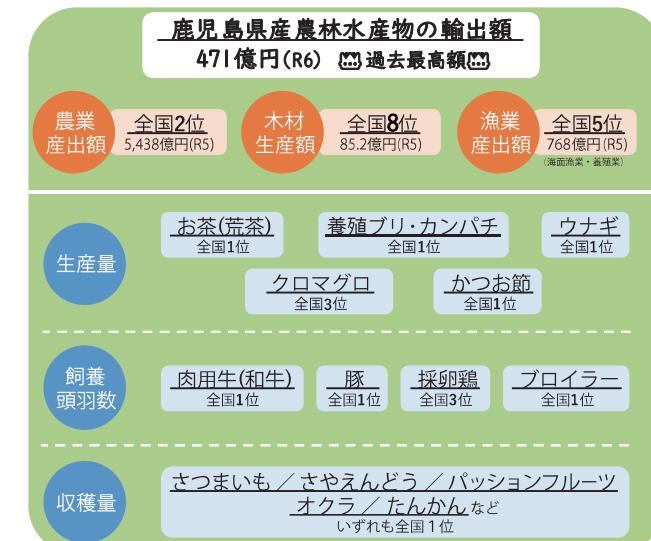
東九州自動車道や、令和7年3月に全線開通した都城志布志道路など広域道路ネットワークの整備により、志布志港へのアクセス性が向上しています。

志布志港を活用し、モーダルシフトをより一層進めることでカーボンニュートラルの実現やトラック運転手の労働時間規制への対応が期待されます。

Access to Shibushi Port has improved with the development of wide-area traffic networks such as the Miyakonojo Shibushi Road opened in its Entirely in March 2025 and Higashikyushu Expressway. By utilizing Shibushi Port and further promoting modal shift, it is expected that carbon neutrality can be achieved, and complying with truck drivers' working hours regulation.

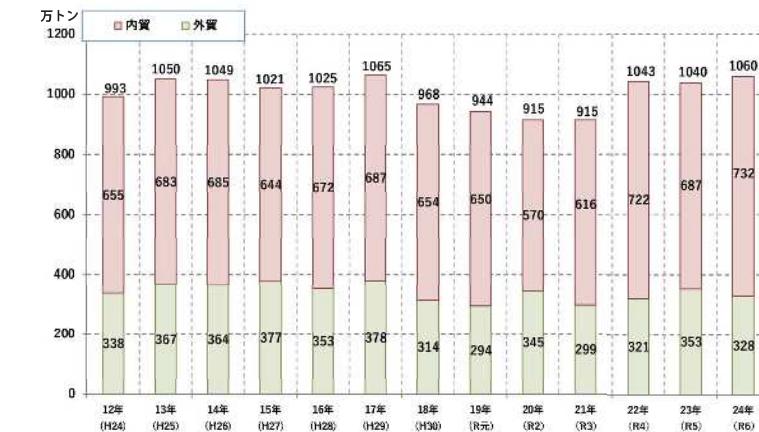


Potential



志布志港データボックス～Data Box～

港湾取扱貨物量 Volume of Total Cargo Handled at Shibushi Port



志布志港では主に畜産飼料が輸入され、輸出では原木などの貨物が取り扱われています。

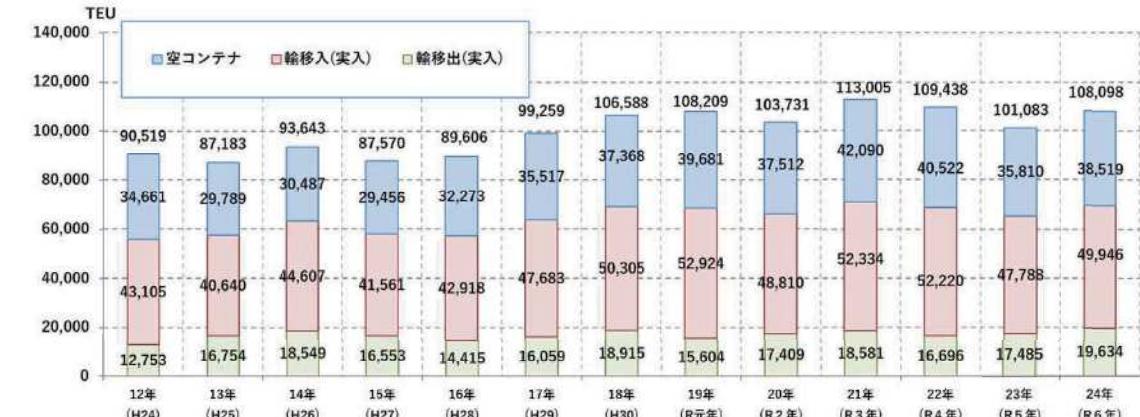
移出入においては主にフェリーなどを利用した貨物が取り扱われています。

Shibushi Port mainly handles livestock feed materials for import, logs for export. The exporting and importing is mainly conducted via cargo ferries.

2024年 取扱貨物量(フレート・トン)

ランク	輸出 : 394,802(フレート・トン)	輸入 : 2,888,770(フレート・トン)	移出 : 4,161,049(フレート・トン)	※港湾統計速報値	
				フェリー	移入 : 3,161,653(フレート・トン)
1	原木	310,310 (79%)	とうもろこし	1,699,469 (59%)	フェリー 2,437,430 (77%)
2	動植物性製造飼肥料	25,319 (6%)	動植物性製造飼肥料	364,716 (13%)	動植物性製造飼肥料 165,656 (5%)
3	その他畜産品	11,041 (3%)	麦	231,822 (8%)	セメント 117,422 (4%)
4	紙・パルプ	9,803 (2%)	その他雄鶏	229,257 (7%)	砂利・砂 111,024 (4%)
5	ゴム製品	8,903 (2%)	その他農産品	124,561 (4%)	その他雑穀 65,526 (2%)
6	その他雑穀	3,400 (1%)	化学薬品	50,209 (2%)	その他農産品 62,227 (2%)
その他	その他	26,026 (7%)	その他	188,736 (7%)	その他 202,368 (6%)

コンテナ取扱量 Volume of Foreign Container Handled at Shibushi Port



2024年 コンテナ取扱貨物量(TEU)

ランク	輸出 : 33,826(TEU)	輸入 : 38,322(TEU)	移出 : 17,741(TEU)	※港湾統計速報値	
				ゴム製品	移入 : 18,210(TEU)
1	原木	2,776 (8%)	動植物性製造飼肥料	11,538 (30%)	動植物性製造飼肥料 7,253 (40%)
2	ゴム製品	1,756 (5%)	その他農産品	10,680 (28%)	その他農産品 3,615 (20%)
3	紙・パルプ	720 (2%)	化学薬品	3,226 (8%)	樹脂類 1,970 (10%)
4	その他畜産品	612 (2%)	窓業品	1,640 (4%)	染料・塗料・合成樹脂 455 (3%)
5	動植物性製造飼肥料	462 (1%)	塗料・塗料・合成樹脂	1,263 (3%)	化粧品 342 (2%)
6	自動車部品	309 (1%)	ゴム製品	1,178 (3%)	その他畜産品 280 (2%)
その他	その他	26,894 (80%)	その他	8,797 (23%)	ゴム製品 153 (1%)
					その他 5,095 (28%)

港湾計画図

